



説明文・論説文(3) / 作文(2)

例題 次の文章を読んで、あとの問いに答えましょう。

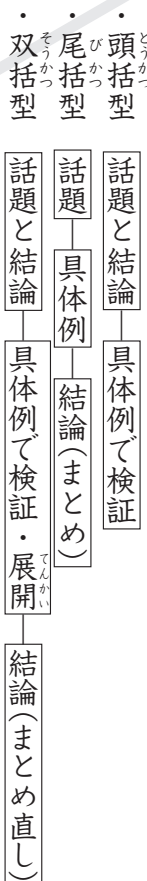
著作権者への配慮から、掲載を差し控えております。
 実際の教材には掲載されておりますのでご安心ください。

20 15 10 5

ポイント

●段落と段落の関係をとらえる。

・段落ごとの内容を読み取り、「話題」「説明(具体例)」「まとめ(主張)」などに分けてみましょう。結論をどこに置くかによって、文章の構成を次のように分けることができます。



□(1) — 線①「聖徳太子」の話は、— 線②「人間一般の弊」とは反対の例です。ここでの「人間一般の弊」とはどのようなものですか。それを述べている部分を、**⑤**段落中から二十字以内で書きぬきましよう。

--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

□(2) — 線③「未発の事故が、まさにそうした状況のなかで起こりやすい」とありますが、「そうした状況」とはどのような状況のときですか。その具体例として挙げられていることを、文章中の言葉を使って、二つ書きましよう。

著作権者への配慮から、掲載を差し控えております。
実際の教材には掲載されておりますのでご安心ください。

(村上陽一郎「安全と安心の科学」より)

(注) 聖徳太子：同時に十人の訴えを聞き分けたという伝説がある。

弊：よくないこと。習慣的な悪さ。

ナース・コール：患者がベッドから、ナースステーションにいる看護

師を呼び出すための装置。

ヒューマン・ファクター：人間の側の要因、条件。

25

30

35

□(3)

医療機関など安全が求められる場所において、そこで働く人は、同時に、複数の事態への対応を求められることもあるということが、本文からわかります。そのような状況で、安全を確保して物事をすすめるには、何が必要となりますか。文章中の言葉を使って、二つ書きましよう。

□(4)

この文章の構成を説明したものとして最もふさわしいものを次の中から一つ選び、記号で答えましよう。

ア 導入として想像しやすい例を挙げて話題を示し、いくつかの具体例を挙げながら、最後に筆者の主張を述べている。

イ 具体的な数値を用いた資料をもとに事実を述べたあと、その根拠をいくつか挙げて、最後に判断を読者に委ねている。

ウ 筆者の意見とは反対の意見を挙げたあと、その意見のおかしな点を述べて、最後に改めて筆者の意見を述べている。

エ 自分の体験をもとに筆者の主張を示し、その根拠として具体例を挙げながら対策を検討し、最後に新しい結論を示している。

演習問題

1 次の文章を読んで、あとの問いに答えましょう。

著作権者への配慮から、掲載を差し控えております。
 実際の教材には掲載されておりますのでご安心ください。

20 15 10 5

著作権者への配慮から、掲載を差し控えております。
 実際の教材には掲載されておりますのでご安心ください。

45 40 35 30 25

(注) 熨斗袋：金銭を贈るときに入れる紙袋。

水引：贈答品の包み紙などを結ぶのに用いる紙糸。

湯かたびら：入浴時または入浴後に着る単衣。ゆかた。

マジカルな：不思議な。魔法的な。

(田中優子「布のちから 江戸から現在へ」より)

浮世絵：江戸時代の風俗画。風景、似顔絵など題材は広い。

□(1) — 線①「ジョイ・ヘンドリーの『包む文化』という本」とありますが、筆者はこの本の内容のどこが最もすぐれていると思っただのですか。文章中の言葉を使って、三十五字以内で書きましよう。

□(2) — 線②「のれんや障幕が建築物を『包む』とありますが、ジョイ・ヘンドリー氏は日本の建築物のどのような特徴に「包む」という行為を感じていますか。文章中から三字で書きぬきましょう。

□(3) 日本の文化における「包む」という行為について、筆者はどう考えていますか。文章中の言葉を使って、五十字以内で書きましよう。

2 次の文章を読んで、あとの問いに答えましよう。

著作権者への配慮から、掲載を差し控えております。実際の教材には掲載されておりますのでご安心ください。

著作権者への配慮から、掲載を差し控えております。
 実際の教材には掲載されておりますのでご安心ください。

(注) 装丁…本の表紙などのデザイン。
 (瀬戸内寂聴「15歳の寺子屋 道しるべ」より)

□(1) ——— 線①「『いい本』と『悪い本』の区別」ができるようになる

とは、**あ**読書を通してどういうことがわかってきて、**い**何が身についたということですか。文章中から二つずつ書きぬきましょう。

①	②
_____	_____
_____	_____
_____	_____

45	40	35	30	25	20	15	10	5	0

□(2) ——— 線②「いい方法」とはどのような方法ですか。文章中の言葉を使って書きましょう。

--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

□(3) ——— 線③「何かピンとくるものがあれば、絶対にその本を読んでみてください」とありますが、他にも筆者が読むことをすすめているのはどのような本ですか。すすめる理由がわかるように、文章中の言葉を使って、五十字以内で書きましょう。

--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

□(4) 読書には、本を区別できるようになること以外にどのような利点がありますか。文章中の言葉を使って、五十字以内で書きましょう。

--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

作文
作文(2)

ポイント

● テーマをとらえ、長所と短所を整理する。

「AとBどちらが適しているか」という議論型のテーマが設定されていることがある。与えられた話し合いや資料をもとに、議論対象になっているそれぞれの長所と短所を整理する。

● 自分の考え（立場）を明確にして意見を書く。

自分の考え（立場）を明確にして意見を書く。意見の根拠として、自分の体験や本で得た知識などを具体的に示す。

問題 としきさんの学級では、国語の授業でニュースが話題になりました。そこで、ニュースを知る方法として、テレビで見るのと新聞で読むのではどちらが適しているかという話を話し合いました。話し合いを読んで、あとの指示にしたがって作文を書きましよう。（解答用紙は別紙の原稿用紙を使いましよう。）

【話し合い】

としき ぼくはテレビで見るのがよいと思います。なぜなら、テレビでは、映像や図を使っていて、わかりやすく放送されるからです。

ほのか 私は新聞で読むのがよいと思います。なぜなら、どのようなニュースなのかを、じっくり考えながら読むことができるからです。

ひかり テレビは新聞よりも早くニュースを知ることができの
がよい点ですね。ただ、どんどん新しいニュースが入ってくるので、いつの間にかちがうニュースになっていて、知りたいと思ったことがわからなかったということもあります。

けんと 新聞なら持ち運びがしやすいので、空いた時間に読むことやあとで読み返すこともできますね。

□(1) テレビと新聞の長所と短所について、段落を分けずに百五十文字以内でまとめましよう。（話し合いで出た意見とちがう意見でもかまいません。）

【下書き】

□(2) あなたは、ニュースを知るためには、どのような方法がよいと思いますか。あなたの考えを次の《条件1・2》にしたがって書きましよう。

《条件1》 はじめに自分の立場を明らかにましよう。

《条件2》 あなたがニュースを理解する方法としてよいと思う方法を、その理由もふくめて二百字以内で書きましよう。

【下書き】

2 ゆうこさんとけんたさんは、学校の課題で神奈川県神奈川県の工業について調べました。次の会話文と資料を見て、あとの問いに答えましょう。

ゆうこ：「工業には、どのような種類があるのか、資料1にまとめてみたよ。」

けんた：「重化学工業や軽工業の中にも、いろいろな工業があるんだね。神奈川県全体で、地域によってさかんな工業を調べるために、資料2にまとめてみたよ。」

ゆうこ：「資料2は、神奈川県と東京都東京都に広がる京浜工業地帯京浜工業地帯にふくまれる地域の地図だね。神奈川県では、特に川崎市や横浜市横浜市で工業がさかんなようだよ。」

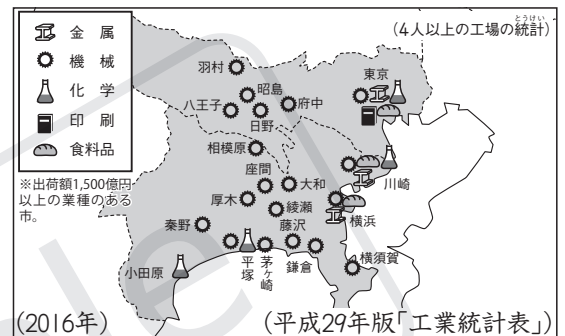
けんた：「川崎市と横浜市にある港であつかわれている、工業に関する輸出品・輸入品とその割合について調べて、資料3にまとめたよ。」

ゆうこ：「川崎港と横浜港では、やっぱり輸出品や輸入品も工業に関わるものが多いね。」

資料1

重化学工業	金属工業 鉄鉱石から鉄鋼をついたり、ボーキサイトなどからアルミニウムをついたりする工業。	軽工業	せんい工業 生糸や化学せんいなどを原料に、衣類などをつくる工業。
	機械工業 自動車や船、テレビなどの電化製品、コンピューター、集積回路 [IC]、カメラなどをつくる工業。		食料品工業 農水産物や畜産物から、パンや牛乳、ジュースなどをつくる工業。
	化学工業 石油などからプラスチックや化学肥料などをつくる工業。		セメント工業 石灰石からセメントをつくる工業。

資料2



- (1) 資料1と資料2から読みとることができる内容として正しいものを、次のア～エから一つ選び、記号で答えなさい。()
- ア 軽工業では、衣類や紙、集積回路などの重量の軽いものがつくられる。
 - イ 重化学工業では、鉄鉱石やボーキサイトなどの鉱産資源が原料として使われる。
 - ウ 川崎市と横浜市では、軽工業の工場はまったくみられない。
 - エ 印刷工場は、東京都にはみられないが、神奈川県ではみられる。

- (2) 資料3から読みとることができる内容として正しいものを、次のア～エから一つ選び、記号で答えなさい。()
- ア 川崎港の輸出総額は、横浜港の自動車の輸出額より大きい。
 - イ 川崎港の肉類の輸入額は、横浜港の衣類の輸入額の半分以下である。
 - ウ 川崎港の鉄鋼、鉄鋼くずの合計輸出額は、横浜港の金属加工機械の輸出額の半分以下である。
 - エ 石油、液化ガスの合計輸入額は、横浜港よりも川崎港の方が約3倍大きい。

資料3

川崎港			
輸出総額	11,167億円	輸入総額	23,571億円
自動車	35.3 %	石油	31.1 %
有機化合物	14.0 %	液化ガス	29.6 %
石油製品	12.6 %	肉類	14.8 %
鉄鋼	5.3 %	魚介類	5.1 %
鉄鋼くず	3.7 %	石炭	3.0 %
その他	29.1 %	その他	16.4 %

横浜港			
輸出総額	69,461億円	輸入総額	48,920億円
自動車	19.6 %	石油	12.0 %
自動車部品	4.5 %	液化ガス	4.5 %
内燃機関	4.5 %	アルミニウム	3.5 %
プラスチック	4.0 %	衣類	3.3 %
金属加工機械	3.2 %	有機化合物	3.0 %
その他	64.2 %	その他	73.7 %

(2019年) (2020/21年版「日本国勢図会」)

- (3) 神奈川県は、化学工業の工業出荷額が全国第3位(2018年)です。次のア～エから化学工業の工業出荷額が最も少ない県を一つ選びなさい。また、その県を選んだ理由を資料2・資料3を参考にして書きなさい。()
- ア 茨城県 イ 千葉県 ウ 長野県 エ 三重県
- ()

演習問題B

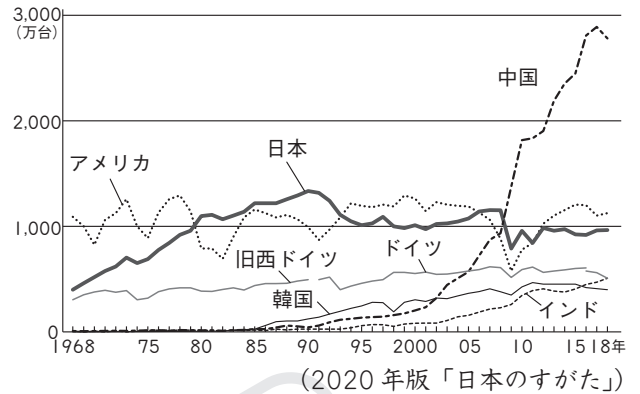
1 次の資料を見て、あとの問いに答えましょう。

資料1 工業出荷額の割合の変化

年	割合 (%)						工業出荷額等 (億円)
	重化学工業	軽工業				その他	
1950	16.7	3.6	13.4	13.8	23.1	19.4	22,941
1960	18.8	25.8	11.1	13.1	12.3	18.9	155,786
1970	19.3	32.3	10.6	10.4	7.7	19.7	690,348
1980	17.1	31.8	15.5	10.5	5.2	19.9	2,146,998
1990	13.8	43.1	9.7	10.2	3.9	19.3	3,270,931
2000	11.1	45.8	11.0	11.6	2.3	18.2	3,035,824
2010	13.6	44.6	14.2	11.7	1.4	14.5	2,908,029
2017	13.4	46.0	13.1	12.1	1.2	14.2	3,219,395

(2020年版「日本のすがた」など)

資料2 世界各国の自動車の生産台数の移り変わり



□(1) 資料1について、1950年と2017年を比較して、最も工業出荷額が増えた工業はどれですか。また、その工業の2017年の出荷額は、1950年の出荷額の約何倍になりましたか。小数第1位を四捨五入して、整数で答えなさい。

工業() 出荷額(約) 倍

□(2) 資料2について正しく説明したものを、次のア～エから一つ選び、記号で答えなさい。

()

- ア 2000年以前、各年の生産台数が最も多い国はアメリカかドイツ(旧西ドイツ)である。
- イ 韓国とインドは、これまで中国の生産台数を上回った年はない。
- ウ 2017年の中国の生産台数は、1990年のアメリカと日本の合計よりも多い。
- エ 2009年には、インドをのぞいたすべての国で、前年よりも生産台数が減少している。

□(3) 日本の自動車生産に関連して、右の資料3は、日本の自動車会社の地域別生産台数の変化を日本とアジアで比較したものです。この表を見て、気づいたこと、考えられることを書きなさい。

資料3 日本の自動車会社の地域別自動車生産台数

(単位：万台)

	2000年	2005年	2010年	2015年	2019年
国内	1,014	1,080	963	928	968
アジア	167	396	713	947	1,085

(日本自動車工業会資料)

()

□(4) 日本と中国の自動車生産を比べて、1990年ごろまでと、1990年代以降ではどのように変化していますか。資料2と資料3を参考にして気づいたこと、考えられることを書きなさい。

1990年ごろまで ()

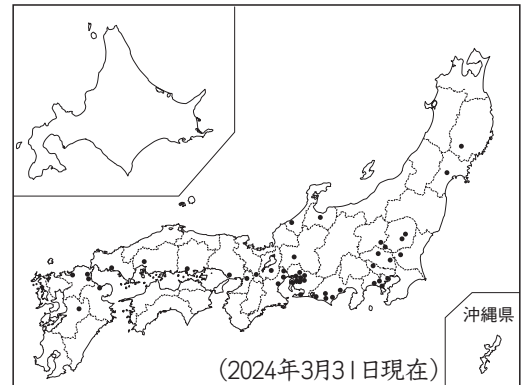
1990年代以降 ()

2 次の資料を見て、あとの問いに答えましょう。

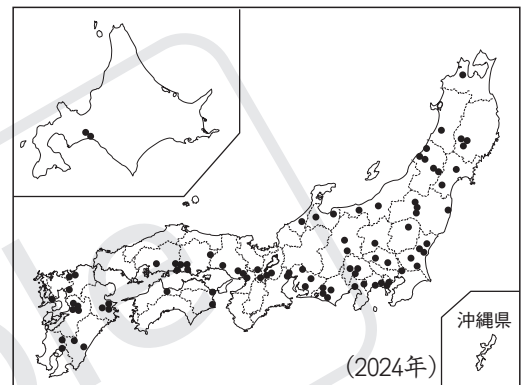
資料1 製鉄所の所在地



資料2 自動車工場の所在地



資料3 半導体工場の所在地



(2025/26年版「日本国勢図会」)

□(1) 資料1の製鉄所の多くが含まれる、関東地方から九州地方北部にかけての工業地帯・工業地域が連なる地域は何と呼ばれていますか。

()

□(2) 製鉄所がなぜ(1)の地域に集中して位置しているのか、考えられる理由をかんたんに書きなさい。

()

□(3) 資料2の自動車工場の所在地や資料3の半導体工場の所在地を、資料1の製鉄所の所在地と比較したとき、どのようなちがいがありますか。その理由も明らかにして、かんたんに書きなさい。

()

□(4) 資料2の自動車工場の所在地を資料3の半導体工場の所在地と比較したとき、どのようなちがいがありますか。資料1の製鉄所の所在地をふまえて、かんたんに書きなさい。

()

演習問題 A

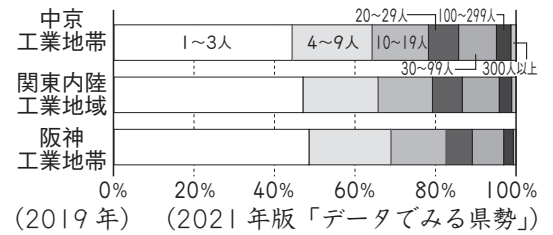
1 次の資料を見て、あとの問いに答えましょう。

資料1

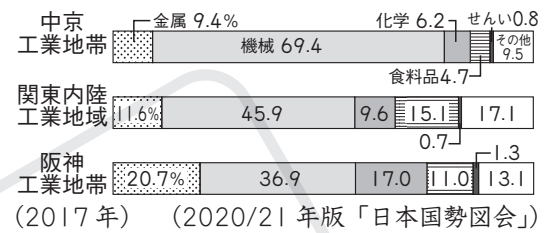
働く人の数による 工場の大きさ		工場数	働く人の数 (万人)	工業出荷額 (億円)
中小工場	1～3人	169,505	33	29,036
	4～9人	68,892	43	60,271
	10～49人	90,157	192	423,152
	50～99人	15,165	106	328,047
	100～299人	10,539	171	687,288
大工場	300～999人	2,985	147	816,404
	1000人以上	511	112	876,506
合計		357,754	803	3,220,703

※工場数と働く人の数は2018年6月1日時点、工業出荷額は2017年
(2020年版「日本のすがた」)

資料2



資料3



□(1) 働く人の数によって工場の大きさを分けたとき、工場の大きさ^{ちいき}と工場数とは、どのような関係^{わらあい}になっていますか。かんたんに書きなさい。

()

□(2) 中小工場と大工場の働く人一人あたりの出荷額は、どちらのほうが多いですか。また、働く人一人あたりの出荷額を比較すると、最も多いところは最も少ないところの約何倍ですか。小数第1位を四捨五入して、整数で答えなさい。

工場() 出荷額(約) 倍

□(3) 資料2は働く人の数によって工場の大きさを分けたときの工場数の割合を、それぞれの工業地帯・地域別に示したグラフです。阪神工業地帯はどのような特徴があるといえますか。中京工業地帯や関東内陸工業地域と比較して、かんたんに書きなさい。

()

□(4) 資料3はそれぞれの工業地帯・地域の製造品出荷額の割合を示しています。阪神工業地帯は金属工業の出荷額割合が高くなっています。その理由を、(3)をふまえて、「関連工場」という語を用いてかんたんに書きなさい。

()

基本問題

次の()にあてはまる語を書きましょう。

- ① 重くて大きい製品を生産する工業を()といいます。 (①)
- ② ①の工業のうち、鉄・アルミニウム・銅などを板や管などに加工する工業を()といいます。 (②)
- ③ ①の工業に対して、糸、食料品、紙・パルプ、印刷物、陶磁器など、おもに日用品をつくる工業を()といいます。 (③)
- ④ ③の工業のうち、衣類や、衣類をつくるための糸をつくる工業を()といいます。 (④)
- ⑤ 日本のすべての工場のうち、工場の数が圧倒的に多いのは、大工場と中小工場のうち、()です。 (⑤)
- ⑥ 大工場と中小工場を比べると、働く人1人あたりの生産額が多いのは()の方です。 (⑥)
- ⑦ 中小工場は、大工場のためにつくった部品を送る()工場としての役割をになっているところが多くあります。 (⑦)
- ⑧ 日本の国内から海外に工場が移転したことによって、国内の産業がおとろえる問題を()といいます。 (⑧)
- ⑨ 関東地方から九州地方の北部にかけて帯状に広がっている、工業がさかんな地域を()といいます。 (⑨)
- ⑩ 東京都や、横浜市・川崎市を中心とする神奈川県に広がっている工業地帯を()といいます。 (⑩)
- ⑪ 愛知県を中心に、岐阜県・三重県に広がる工業地帯を(ア)といい、豊田市の自動車などを中心に(イ)工業の割合が高く、出荷額は日本一です。 (⑪ア) (⑪イ)
- ⑫ 大阪府や、神戸市を中心とする兵庫県など、大阪湾沿岸を中心に広がっている工業地帯を()といいます。 (⑫)
- ⑬ 福岡県の北九州市を中心とする工業地域を()といいます。 (⑬)



日本の工業

テーマ

日本の工業の種類や工場の特徴、日本の工業がかかえる問題や課題について学習しましょう。
 輸送に便利な地域に工業地帯や工業地域がつけられたことを理解しましょう。

1 日本の工業

(1) 工業の種類

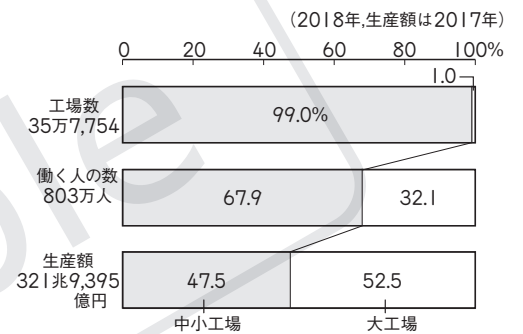
- ・重化学工業…重くて大きい製品を生産する。機械工業，金属工業，化学工業など。
- ・軽工業…せんい工業，食料品工業，窯業(陶磁器などをつくる)など。

(2) 日本の工業…かつては軽工業が中心で，糸などをつくるせんい工業がさかんだった。現在は，自動車やコンピューターなどをつくる機械工業がさかんになっている。

(3) 日本の工場

- ・日本の工場のほとんどは，働く人が300人未満の中小工場。工場で働く人の半分以上が中小工場に働く。
- ・大工場では，ロボットや大型の機械などを使って製品を大量に生産。→働く人一人あたりの生産額が多い。
- ・中小工場の多くは，大工場に部品をおさめる関連工場。
- ・独自の技術で製品をつくる中小工場もある。
- ・中小工場は，大工場に比べて，人手不足や低賃金，長時間労働などの問題がある。

①大工場・中小工場の工場数・働く人の数・生産額の割合



※大工場は働く人300人以上の工場。(2020/21年版「日本国勢図会」)

(4) 日本の工業の問題や課題

- ・原料や生産に必要なエネルギー源を輸入にたよっている。
- ・日本の企業が工場を海外に移したため，国内の工場が少なくなり，国内の産業がおとろえるという産業の空洞化が進んでいる。
- ・持続可能な社会の実現のために，環境にやさしい製品を開発する必要がある。

2 日本の工業地帯・地域

(1) 太平洋ベルト

- ・原材料の輸入や，製品の輸出に便利な海ぞいに工場が集まっている。
- ・太平洋ベルトの地域は，大都市が多いので，労働力を得やすい。

(2) 三大工業地帯

- ・京浜工業地帯では，東京都で印刷業が発達している。
- ・中京工業地帯は日本最大の工業地帯。豊田市(愛知県)では，自動車工業がさかんに行われている。
- ・阪神工業地帯には，中小工場が多い。

(3) 北九州工業地域…明治時代に建てられた八幡製鉄所を中心に発展した。現在は機械工業が中心。

②おもな工業地帯と工業地域

